



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 21 | Issue 1 | September 2017

➡ In this issue...

- ▶03...IBディプロマの結果
- ▶04...新任スタッフ
- ▶08...K1での最初のお絵かき
- ▶09...SEALプログラム
- ▶12...KIPSニュース
- ▶15...北京でのサマーキャンプ
- ▶16...アスレチックアップデート
- ▶17...TASSELレポート
- ▶18...ハピタット・フォー・ヒューマニティ
- ▶19...セカンダリーSRC
- ▶23...KIST保護者会(CA)
- ▶25...卒業生大学合格実績

「真に教養があるといえる人は、学ぶ方法と、変化することを学んだ人である。」
—Carl Rogers

学校長より

KISTコミュニティメンバーの皆様、
楽しく、休息に満ちた夏休みを終え、また皆様にお会い
来たことを嬉しく思います。



今年も夏休み明けに一段と成長した生徒たちを迎えることが出来たことを嬉しく
思います。また、暑期中、Parent Welcome Nightに多くの保護者の皆様にお越しいた
だき、ありがとうございました。また、その後、お子さんの教室で、他の保護者の皆様や
担任との交流を楽しまれたことを願っています。

昨年は本当に盛りだくさんの素晴らしい一年でした！大成功に終わったIB評価訪問
や、KISTのCIS認可取得に加え、今年も卒業生たちがKISTのIBDP最高点を更新し
てくれました。今のところ、シンガポールとUKが直近のDP平均では38点超えと、36
点と最高をマークしている2大国です。そして先日Parent Welcome Nightの理事会
報告でお話したように、DPで40点またはそれ以上を取得する生徒は全世界で10%
以下(昨年度は7%以下)です。その中で、KISTの2017年度DP平均点は38.03点
で、卒業生の40%が40点又はそれ以上を取得しています。この結果で、KISTは世
界トップのIB校の仲間入りを果たしています。

上記の数値はKISTと生徒たちの成し遂げたことのすばらしさを語っています。しか
し、この数値の凄さを理解するにはまず、DPプログラムの難易度を考慮する必要が
あります。最難関のプログラムとして認知されているからこそ、DP生は世界中の大学
から高く評価されているのです。大多数のDP校では生徒にcertificateプログラム
を履修させ、学力の特に高い生徒のみにDP(フルディプロマ)を履修させています。
しかし、KISTでは生徒は**全員** DPコースを履修し、2017年度卒業生の95%がフル
ディプロマを履修しました。そしてフルディプロマ履修生の100%が最終試験に合格
しています。それもただ合格したのではありません。35名全員が世界平均を超える
点数を取得しています。KISTで最低点であった生徒もIB世界平均よりも高い得点
を得ていたということです。

卒業生全員がこの結果を得るために熱心に学業に励んでいたことは紛れもない事
実ですが、同時に彼らがこのような結果を出せるようPYP、MYPでしっかりした土台
を作りあげたからこそ成し遂げられた快挙でもあります。DPでの成功にはコミュニ
ティ全体の協力が不可欠なのです。毎年実施される統一診断テストのデータを収集
していますが、この結果からもPYP、MYPを通して生徒たちがDPIに向かうための実
力をしっかりとつけられていることがわかります。

次のページに続く

DATES TO REMEMBER



September 2017

- 16-17 Staff development days (No school for students)
- 18 School holiday
- 23 (G9-G12) KPASS High school drama festival (Hosted@YIS)
- 25-26 School photographs
- 26 PYP Information session for new parents (*Evening)

October 2017

- 4-5 Tech day camp
- 7 SAT@KIST
- 9 School day
- 9 (G1-G5) Field Day
- 23 (G10) MYP Personal Project information session
- 11 (G10) PSAT tests
- 14 School explanation day (for prospective parents)
- 16 2018-2019 enrollment applications open
- 27 K.20 preparation day (K1-G5) No school for students (S) School day
- 28 Last day of quarter 1
- 28 K.20 celebration
- 29 K.20 clean up day
- 29-Nov 5 Autumn vacation

November 2017

- 4 SAT@KIST
- 6 School resumes for all students



PYP | MYP | DP

前ページの続き

- PYPのG2-G5に在籍している生徒の90%以上が算数の診断テストで、学校がこれから履修するプログラムで成功できるよう設けた高い期待値において。「期待値以上」の評価を得ています。
- MYPで受験するISA試験の結果も非常に良好で、すべての学年(毎年ISAを受験するG5-G9)の生徒が試験の各部門で世界平均以上の得点を獲得しています。
- PSATの総合得点(KISTの全G10が、毎年秋に世界中から300万人以上が受験するPSATを受験します)が世界のトップ23%に入りました。また、数学は世界トップ18%(KIST生の56%が数学の世界平均でトップ10%にランキングしています)。
- 今年もKISTのIGCSE 結果は特筆すべきものでした。Mathematics A (Grade 10 Standard) を受験した生徒の100%がB以上(92%がA またはA*)、Mathematics B (Grade 9 Extended) を受験した生徒の100%がB以上(83%がA またはA*)、Further Pure Mathematics (Grade 10 Extended) 受験生の96%がB以上を取得しました。

(KIST生の試験結果・学習成績情報の詳細はホームページからご覧いただけます。)

[Learning > Academic Performance](#)

PYPからDP全体での生徒の実績は本当に素晴らしいものです。しかしこの成功はただ何もせずに起こったものではありません。KISTでは「教育には生徒、保護者、そして学校の協力関係が不可欠である」と信じ、これまでの実績はコミュニティの協力関係の強固さの証明であると考えています。KISTの教職員は非常に熱心な指導を行い、生徒たちは高い学習意欲と努力でこれに応え、保護者の方も熱心にサポートをしてくださっています。KISTに対するコミュニティ皆さんの貢献に心から感謝します。皆さんのサポートがあったからこそ、学校全体が誇れる素晴らしい結果を導き出すことが出来ました。

先週、KISTの20周年記念冊子を生徒を通して各ご家庭にお渡ししました。20年というのはインターナショナルスクールの中では比較的新しい部類に入ります。しかし、KISTにとってこれまでの20年は著しい発展と成長を遂げた年月でした。その中でも特筆すべきものは:

- KISTが東京初のIB・3プログラム提供校となる
- 1997年に生徒数たった1名からスタートし、世界的な経済混乱や国内の自然災害を乗り越え、現在の在校生660名超の学校へと成長
- 東京都より学校法人、そしてCIS(インターナショナルスクール会議)の認可を取得
- 過去3年間、日本のIB最高点を達成
- 251名の卒業生を世界のトップ大学236校に送り出す

これまでの20年間で祝うべきことはまだまだありますので、10月の学園祭で皆さんと共有したいと思っています。以前お知らせしたように、今年のKISTivalはK.20と名前を変え、KISTの成長を祝い、生徒や卒業生が世界をより良い場所にするために行った数々の貢献を称える場として、教職員と生徒たちが皆さんをおもてなしいたします。

皆さんのサポートに今一度感謝致します。何かご意見やご質問がございましたら学校または私に直接大問い合わせ下さい。最後に、*The Comet*に毎回貢献してくださっている皆さんに大きな感謝を捧げます。**ありがとうございます！**

Happy reading!

Jeffrey Jones
Head of School



2017入学説明会

2018 - 2019年度向け

KISTでは2018 - 2019年度入学希望者を対象とした入学説明会を行います。

アドミニスタフおよび教師が直接皆さまからの様々な質問(入学手続き、カリキュラム、大学進学、その他学校生活全般について)に直接お答えいたします。

また、学校施設の見学もできます。

日時:

October 14, 2017 (Saturday)

セッションは2部制です:

(1) English: 9:45 a.m. - 12:00 p.m.

(2) Japanese: 1:15 p.m. - 3:30 p.m.

受付締切は:

October 13, 2017 (Friday)

要予約です!

www.kist.ed.jp

IBディプロマの結果—2017年7月

夏休み期間中に、2017年度卒業生のIBディプロマ結果が公表されました。下記表は昨年度卒業生の結果と、2014年から2016年の卒業生の結果をまとめたものです。

卒業年度	12年生の 数	IB ディプロマ 履修生徒数	フル ディプロマ 履修生徒率	ディプロマ 取得数	ディプロマ 取得率	IB ディプロマ 取得生徒 平均点	世界平均	KIST 最高得点
2017	37	35	95%	35	100%	38.03	29.95	43
2016	38	37	97%	36	97%	36.64	30.07	43
2015	29	28	97%	26	93%	35.92	29.88	45
2014	37	35	95%	33	94%	33.4	30.1	43

特に、2017年度卒業生は：

- ⇒ 2017年度卒業生37名中35名(95%)フルディプロマを履修。IBの世界統計によると、フルディプロマ履修者はたったの50%。
- ⇒ KISTの2017年度フルディプロマ履修者は100%がIBディプロマを取得。IBの世界統計によると、フルディプロマを履修する50%のうち、合格者は80%。
- ⇒ IBディプロマ取得者の平均点は**38.03点**。これにより、KIST歴代最高平均点が更新されました。
- ⇒ **KISTのDP最低点(31)**は2017年度DP世界平均29.95を上回っています。
- ⇒ IBディプロマ取得者の40%は40点又はそれ以上を取得し、KIST大学進学奨学金の対象となりました。世界的に見ると、40点それ以上を取得できるのは全受験者の7%程度に過ぎません。
- ⇒ 4名が学校の最高点、43点、2名が42点、2名が41点、6名が41点を取得しました。
- ⇒ IBディプロマ取得者の46%がPYPからKISTに在籍しており、その内43%が40点又はそれ以上を取得しました。これら数値からもPYP及びMYPプログラムの質の高さがうかがえます。

右記表は各教科別の世界平均との比較です。

- ⇒ KISTで提供している教科の96%で、IB世界平均を超えた結果を出しています。
- ⇒ 78%の教科(オレンジと緑のハイライト部分)でIB世界平均を0.5点以上上回っています(教科別最高得点は最高の7評価)。
- ⇒ 52%教科(緑のハイライト部分)でIB世界平均を1点以上上回っています。

IBディプロマまたはその他外部診断テスト結果についての総合的な情報をお知りになりたい保護者の方は[こちら](#)(Learning > Academic Performance)をご覧ください。

IBディプロマ結果についての一般的な情報は以下をご確認下さい。

<http://www.ibo.org/en/programmes/diploma-programme/assessment-and-exams/getting-results/>

Course	Level	KIST DP course average	IB DP world averages for 2017	+/- over IB DP world average
English A L&L	HL	5.90	4.95	1.00
	SL	5.64	5.18	0.46
Japanese A L&L	HL	6.00	5.07	0.93
	SL	6.00	5.52	0.48
Japanese Ab initio	SL	6.33	4.89	1.44
	HL	7.00	6.24	0.76
Japanese B	SL	6.60	5.16	1.44
	HL	6.33	5.15	1.18
Economics	SL	5.71	4.72	0.99
	HL	5.50	5.20	0.30
Geography	SL	6.00	4.80	1.20
	HL	6.00	4.60	1.40
History	SL	5.67	5.19	0.48
	SL	4.80	4.19	0.61
Env Sys & Societies	HL	5.00	4.32	0.68
	SL	5.00	4.20	0.80
Biology	HL	5.53	4.48	1.05
	SL	6.50	3.95	2.55
Chemistry	HL	6.45	4.65	1.80
	SL	6.00	4.08	1.92
Physics	HL	5.43	4.30	1.13
	SL	4.72	4.72	0.00
Mathematics	HL	6.23	4.37	1.86
	SL	4.00	4.53	-0.53
Music	SL	5.25	4.29	0.96
	HL	5.25	4.65	0.60
Visual Arts	SL	6.50	4.16	2.34

IBはディプロマ結果をまとめた「統計結果」を上記ウェブサイト上で公表します。2017年5月試験の「統計結果」は10月・11月に公表される予定です。

この場をお借りして、生徒の皆さんのDP試験での成功を称えたく思います。12年生を担当し、平均38点というKISTの素晴らしい結果に貢献した教師の皆さんのご指導にも感謝いたします！

John Rose
DP Coordinator



新任スタッフ

2017-2018年度の新任スタッフをご紹介します。KISTに新たに加わったスタッフを暖かく迎えてください。

教員



Heather Neill
MYP/DP English



Zoe Jeffery
Teaching Assistant
(K2A)



Lowanne Perez
Teaching Assistant
(K3)



Nozomi Komatsu
Teaching Assistant
(K1-K2 Japanese)

教育サポートスタッフ

運営部門スタッフ



Miranda Liu
Administrative Assistant
(Office)



Minami Nose
Nurse (KIPS)



スタッフを対象とした安全講習

KISTのミッション

ケイ・インターナショナルスクール東京は、文化的社会的に多様な背景をもった背景をもった学習意欲のある子どもたちに、**安全**で人を**はぐくむ環境**の中で、質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する、人格的に秀でた有能な若者を育成することです。

KISTでは生徒及びコミュニティメンバーに対し、安全な環境を提供することを目指しています。

今年も新学年度の1週間前から始まるオリエンテーションウィーク中に深川消防署を通して救命及びAED講習を受講しました。緊急時への対応を学ぶために研修に参加した25名のKISTスタッフに感謝します。

更に、全スタッフを対象に学校の地震、火災、津波などの避難手順を見直すための訓練が行われました。避難訓練後には深川消防署の指導のもとで消火器の使用法の訓練も実施されました。



エレメンタリースクールニュース

人格的に秀でた若者の育成

今年もケイ・インターナショナルスクール東京で皆さんを迎えられたことを嬉しく思います！皆さんが楽しく、安全な夏休みを過ごされ、学校でのエキサイティングな一年のための英気を養ってこられたことを願っています！



教育の場では、しばしば「全人教育」という考えについての議論が行われます。Association of Supervision and Curriculum Development は、「全人教育」を「狭義の学習成果中心のものから、すべての児童が成功することを目的とした長期的発達を促進するものへの転換努力」と定義しています。KISTでもミッションである人格に秀でた有能な若者を育成するという目標を反映し、これに類似した目標を掲げています。

そもそも人格的に秀でるとはどのようなことでしょうか？道徳や倫理観を備えた人格者は正しいことや間違っただけを区別し、正しい選択を行えます。道徳心や倫理観は子どもが幼いうちから発達し始め、たった2歳で既に倫理観に則った行動を取ることができるということがわかっています。(Oswalt, 2008)

子どもたちはどのように道徳心や倫理観を学ぶのでしょうか？KISTの生徒たちがこれらを学ぶ方法の一つにIB Learner Profile (IB 学習者像)があります。ここで述べられている10の特性を通して生徒たちは正直さ、周囲への思いやり、新しい考えを受容する心などを学びます。生徒たちが毎日学校で学ぶことを実際に行い、体験できるようになるためにはこれらを実生活で目にし、体験する必要があります。これはどのようにすればよいのでしょうか？

“ 多くの子どもにとって最も重要なお手本は両親・保護者によって示されるものです
—The American Academy of Child and Adolescent Psychiatry ”

American Academy of Child and Adolescent Psychiatry (AACAP)によると、多くの子どもにとって最も重要なお手本は両親・保護者によって示されるものです。子どもたちは自分たちにとって重要な人の示すお手本に従って学校で行動し、人間関係を構築し、様々な選択を行います。AACAPではお手本となる人を更に、他者に影響をあたえることによって模範を示す人、と定義しています。KISTでは生徒たちの教育にはコミュニティ全体の協力が不可欠であると考え、良いお手本が生徒の道徳心や倫理観にもたらす好影響を信じています。諺にもあるように、「子どもを育てるには村全体の協力が不可欠」なのです。

子どもを教育するにはコミュニティの協力が必要です。子どもたちは学校、家庭、そしてコミュニティで正しいことや間違っていることを学ぶ必要があるのです。新年度にあたり、学校コミュニティ全体で、ミッションにあるように、人格に秀でた有能な若者を育成することを楽しみにしています。

エレメンタリー担任変更

今年度は内部で担任の異動がいくつかありましたので、お知らせ致します。

教師名	新担任クラス	
Ms Chung	K3B	Ms Chung が産休明けで再びK3に戻ってきました。また、Ms Chung をお迎えできることを嬉しく思います！
Ms Holdaway	セカンダリースクール	Ms Chung の産休明けに伴い、昨年度K3を担当した Ms Holdaway がセカンダリーに異動しました。Ms Holdaway は教員免許取得の際の大多数の科目履修をセカンダリーで行ったため、セカンダリーチームの大きな戦力になることを期待しています。
Ms Kurosaki	G2A	Ms Kurosaki は米国でG1-G5を指導してきたため、少し高い年齢の生徒の指導を希望しました。
Mr Callaghan	K2B	Mr Callaghan の KIPS でのK2及びK3の指導経験はK2チームの強力な戦力となることを期待しています。

Kevin Yoshihara
Elementary School Principal



参考:

- American Academy of Child and Adolescent Psychiatry, A. (n.d.). Retrieved August 17, 2017, from http://www.aacap.org/aacap/families_and_youth/facts_for_families/fff-guide/Children-and-Role-Models-099.aspx
- Krisbergh, A. (n.d.). *Being a Role Model - The Promise and the Peril*. Retrieved August 17, 2017, from <http://centerforparentingeducation.org/library-of-articles/focus-parents/role-model-promise-peril/>
- Oswalt, A. (2008, January 16). *Early Childhood Moral Development*. Retrieved August 17, 2017, from <https://www.mentalhelp.net/articles/early-childhood-moral-development/>

PYPニュース

学習者像(learner profile)とIB教育

またこの季節がやってきました。生徒たちが教室に戻り、少しずつ新しい教師や習慣に馴染み始めています。教師たちも授業計画を整え、探究の方向性や生徒たちの新たな発見について見定めつつあります。この授業計画が一段落すると、また、次の授業サイクルの準備が始まるのです。KISTでの探究授業は「伝統的な」ものではありませんが、コミュニティや社会の一員、そしてもっと大きな世界を見据えた国際感覚を養うのに不可欠なものを生徒に提供しています。

上記の教育理念と共に存在する大きな柱が、人格的に秀でた有能な若者を育成するという学校のミッションです。これはKISTがIB校として生徒の教育的、精神的、社会的ニーズに答える責任があるという事に関連しています。更に必要なのは人生やその中で直面する困難の中で指標となるものです。IBのミッションステートメントでは、「国際バカロレア(IB)は異文化理解と敬意をもって世界をより良く平和な場所にすることが出来る、探究心と知識のある思いやりある若者を育成することである」と述べています。

学習者像には「国際理解」に必要な10の基本的な要素を含んでいます。生涯学習者としての個人は人類に共通の要素を認識し、地球を保護し、より良く平和な世の中を創造することを目指します。これら10の要素は：探求する人、知識ある人、考え深い人、コミュニケーション能力のある人、自律心のある人、広い柔軟な心を持った人、思いやりのある人、挑戦する人、バランスの取れた人、そして振り返りをする人です。これらの要素を、お子さんのKIST在籍中に多方面から探求していきます。これらはPYPにのみ限られたものではなく、お子さんの発達段階とともに追求するもので、教師も生徒個々の能力や発達に従ってより洗練されたニュアンスを伝えていきます。

PYPでは、お子さんが家庭からより広い範囲での交流に踏み出す際に、この学習者像を通してより新しい環境への適応がスムーズに行くように努めています。これを通してIBはお子さんが積極的に探求し、生涯学習者として発達することをサポートしています。

この学習者像(learner profiles)はまさにIB PYP カリキュラムに必須の要素であり、これを基準として生徒の成功を評価しています。

Clay M. Bradley

PYP Coordinator / Elementary School Vice Principal



幼児教育ニュース

在園児の皆さん、進級おめでとうございます。そして、今年度より、K. International School へ通い始めた新入園児の皆さん、ようこそ！ 今年度は学校が創立20周年をむかえます。きっと忘れられない年になること間違えなしですね。幼児教育部門のスタッフみんなが子ども達と楽しく、そして意味のあるひと時を過ごすことを願っています。

昨年度から何点か変更された箇所があります。K3の子ども達は今年から、8:35になったら、G1-G5のお友達と一緒に校庭に並びます。K1~K3のBefore Careの場所がLibraryからGymに変わりました。朝の通勤時間を毎日調整し、全校生徒がスムーズに校舎内に入ることができるのも保護者の皆さんの協力があってこそです。特に8:35まで安全上の理由から、保護者の皆さんと過ごすK3のご家族の方、ありがとうございます。

それと同時に、幼児教育部門では変わらないことも多々あります。そのなかでも特に秀でていることが職員の体制です。幼児教育部門には全員で17人の教員がいます。その中で5年以上努めている教員が6人、本年度から勤務しはじめたものが2人、今年4年目をむかえる教員が5人います。そして、各クラスに親である教員が1人以上、合計で8人が自分も親として働いています。

幼児教育部門の主任としての2年目をむかえますが、K1~K3の教員はみんな子ども達の教育をより豊かにするために、一致団結している、良いチームだということを、日々感じております。

最後に、K1~K2のMusicを教えているMs Karenより、ご家庭で不要になったギターがありましたら、授業で使用させていただきたいとのことです。もしも、ご寄付頂ける家庭がありましたら、Ms Karenもしくは私のところまでご連絡ください。

GUITAR WANTED!



子ども達の学習のため、常日頃サポートして下さる保護者の方々、本当にありがとうございます。

Eri Ozawa

Early Childhood Coordinator (K1-K3) /
K1B Teacher



K1A



K1B



K2A



K2B



K3A



K3B



K1での最初のお絵かき

これは生徒たちのK1での最初のお絵かきです。生徒たちはペンを手に持って一人で形を描くことで**知識ある人**であることを証明しました。また、絵を描くことにベストを尽くしたことですべての生徒が**挑戦する人**であることも証明しました。生徒たちは先生たちに描いたものを説明することで**コミュニケーション能力のある人**となることも出来ました。K1の皆さん、良く頑張りました！

Claire Yoneyama
K1A Teacher



SEALプログラム

「SEAL」プログラムについて知っていますか？もしかして、大きくて灰色の毛皮を持った海獣を想像して、学校となんの関係があるのかと疑問に思った人いるのではないのでしょうか？実は、このプログラム動物のseal、アシカとはなんの関係もありません。SEALは **S**ocial **E**motional **A**spect of **L**earning(学習における社会的、精神的側面)の略で、今年度からエレメンタリーのコミュニティサークルで導入されます。

SEALの取り組みは生徒たちの以下の個人的、社会的スキルの発達を目標としています。

- 自己認識・自我
- 自律心(感情制御)
- 意欲
- 共感
- 社会性

SEALの枠組みは6つのテーマに分けられ、学年度中、以下のように分けて実施されます。

- 新しい始まり
- 仲良く、そして脱落、いじめにNoということ(11月にある英国のいじめ防止週間)
- ゴールを目指して
- 自分を好きに
- 人間関係
- 変化

エレメンタリーオフィスの隣に生徒たちがどのようなことに取り組んでいるかを見て頂ける掲示があります。テーマごとに掲示が新しくなる予定ですので、お子さんの社会的精神的発達をご家庭でもサポートしていただくため、是非、お子さんにプログラムについて質問してみてください。

このページに載せた幾つかの写真はK2のMr CallaghanのクラスやG3のMs Watanabeのクラスのように異なる学年でも同じプログラムを実施できることを示しています。

Kana Furnival
Elementary School Student Care Coordinator



エレメンタリーELS

探究は普遍の真理です

意義深く普遍 - KISTでの PYP 探究単元は私たち(生徒、教師、保護者)が「人類共通の経験」を積むことが出来るように計画されています (*Making the PYP Happen*, p. 19)。単元の計画の他に、KISTコミュニティ内には多くの言語を持つメンバーがいるため、学習がさらに普遍的なものとなっています。

生徒たちがすべての言語の恩恵を受けることができるよう、エレメンタリーオフィスの外に "Inquiry is Universal" (普遍の探究) というスペースを設けました。このエリアの掲示は保護者の皆さんの助けを得て、K3からG5の生徒たちで行います、保護者の皆さん、ご心配なく! 皆さんはこれまでしてこられたことをなさるだけでいいのです。ご家庭でお子さんとUOIについて話し合う時に、お子さんに単元で学んだ新しい英単語について聞いて下さい。そしてそれらの単語を母国語で教えてあげてほしいのです。次に、お子さんが学校に持ってこられるように、母国語での単語を紙に書いていただければ、"Inquiry is Universal" の掲示に追加します。各UOIに取り組む6週間の間、K3からG5は知っているすべての言語で単元の重要な用語を学んでいきます。

これら高度な用語を保護者の皆さんとの会話を通して母国語又は家庭での言語で学ぶことは、下記、研究結果にあるように、お子さんが英語での語彙を本当の意味で習得することにつながります。

「母国語が英語でない場合、母国語・家庭での言語でお子さんに話しかけ、読み聞かせををすることを継続していただきたいと思えます。母国で話すことで英語の習得が難しくなるということは**ありません**。言語の発達で重要なのは第一言語をしっかりと学習することなのです。」(Campbell Hill, 2001, p. 446)

ご家庭でお子さんと第一言語でお話される時、皆さんはお子さんが学習している概念を学校で英語で学習することをより容易にしてくださっているのです。Campbell Hillの文書はお子さんの家庭での言語習得のための素晴らしい道標となります。この文書は今年もお子さんのクラスのMoodleページから英語、日本語、韓国語でご覧いただけます。

Campbell Hillのヒントから以下3つを抜粋しました。

- 母国語でお子さんから学校のことについて聞き、話し合う時間を毎日作ること。
- お子さんにとって難しい概念を母国語で説明すること。
- お子さんに英語を教えてもらう・お子さんが皆さんに英語を教える機会を設けること。

お子さんが "Inquiry is Universal" の掲示板に貼るUOI用語を持ってくるお手伝いをしてくださることは上記全てに当てはまりません。短い話し合いだけでも効果的です。掲示が発展するに連れて、私たちも、UOIがご家庭でどのように話し合われ、家庭での会話が言語習得にどのような影響を与えているのか、概念理解の程度を教室でも感じる事が出来るでしょう。

1. Discuss UOI in your home language(s)
2. Let your child teach you a new English word they learned in UOI
3. Teach them that word in your home language(s)
4. Help write down the home language word so your child can bring it to school
5. ELS instructors will help your child display their word

お子さんが "Inquiry is Universal" 掲示に参加するためには以下の手順に従ってください。



2017-18のELSチーム紹介 (左から右へ): Mr Norwood (G2), Ms Rachel (G5), Ms Joanna (K3B), Ms Wang (K3A), Ms Katie (G1B), Ms Bonus (G1A), Mr Green (G4), Ms Kana (G3) と Mr Arnold (G3)。お子さんのELSインストラクターはご家庭で教えて頂いた母国語でのUOI用語を掲示のお手伝いをします。

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator /
G5 ELS Instructor



参考:

- International Baccalaureate Organization. (2009). *Making PYP happen: Curriculum framework for international primary education*. Cardiff: Author.
- Campbell Hill, B. (2001). *Developmental continuums: A framework for literacy instruction and assessment K-8*. Norwood, MA: Christopher-Gordon.

LEAPニュース

KISTファミリーの皆さん、

こんにちは！今年度も、LEAP授業が提供されます。

今年度も、お子さんがLEAPでどのような学習をしているのかを保護者の方と共有するために、ポートフォリオに代わってニュースレターが発行されます。

昨年度は診断テスト結果によってLEAP参加の可否を決める方式を採用しました。今年も同様に、診断テストのデータを用いてLEAPへの参加を決定します。

生徒たちを効果的にサポートするために、可能な限りクラスあたり的人数を少なく抑えたいと思っています。そのため、診断テストで“Below”または“Just Below”であった(G2-G5)生徒及び/または担任から推薦を受けた生徒のみがサポートクラスに参加できます。

また、リーディングとライティングの診断テストでも、“Meeting”または“Above”を取得し、且つ/または担任の推薦を受けた(G2-G5)生徒のみがEnglish Extension(英語発展)コースを受講できます。

K3-G1の英語サポートクラスへの参加はG1 English Extension(英語発展)及び算数サポートコース同様、担任の推薦と各生徒のサポートニーズを検討したうえで決定します。

受講条件についてご質問がある場合は、LEAPコーディネーターのAmber Guarente、leap@kist.ed.jpまでお問い合わせ下さい。

皆様の変わらぬご理解とサポートに感謝しております。今年もお子さんのために力を尽くしたいと思っています。皆様と一緒に学んでいけることを楽しみにしています！

Amber Guarente
LEAP Coordinator / K1B Teaching Assistant



KIPSニュース



KIPS は順調に2年目のスタートを切りました。今年も皆さんと一緒に楽しく、良い思い出を残せるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと思っています！

保護者の皆さんがKIPSを信頼して大切なお子さんを預けて下さっていることを光榮に思っています。私たちは、お子さんたちが日々学び、成長していくことを見守れることを楽しみにしています。そして、お子さんの日々のニーズに応えるだけでなく、求められているものを越えたサポートを提供できる喜びを楽しく味わっています。

日々、子どもたちはクラスでの生活や単科授業、お友達や先生とのコミュニケーションを通して学び、成長しています。遊びを中心とした学びの経験は幼い子供たちにとって不可欠です。遊びを通して子どもたちは興味をもった活動に取り組むことができます。また、友だちと譲り合ったり、仲良くしたりと、自分のペースで成長していくことが出来るのです。

今年はKIPSのインタラクティブな環境に新たに「遊びの壁」が加わりました。これは各クラスに設置され、特に生徒の「知覚と微細運動技能」の発達に貢献するものです。子どもたちには身体能力に加え、視覚、触覚、聴覚を最大限に活用することを推奨しています。

KIPSでは、スタッフ一同お子さんのために最も安全で安心な環境を提供できるよう常に心がけています。私達はKISTコミュニティで果たしている役割に誇りを持って日々職務に励んでいます。お子さんに新しい教育機会を提供していくために、これからも皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。今年も良い一年となることを心から祈っています！

Stephanie Pae
KIPS Coordinator



セカンダリースクールニュース

お子さんが新年度をスムーズにスタートされ、学ぶことを楽しみ、学校を心地よい場所と感じてくれていることを願っています！

私は今年でKISTの在籍10年を超えました。これから始まる一年を心から楽しみにしています。個人的には、今年度授業を持っていないので、より多くの授業を見学し、生徒の様子を見守り、そして保護者の皆様とのコミュニケーションやサポートを行えると思っています。IB DPの結果はもちろんとても誇らしく思っていますが、その他の進歩・発展も大いに心強く思っています。例えば、セカンダリーの殆どが学年で私の知る限りでは初めて定員に達し、Semester 1のクラブも大きく定員を超えました。

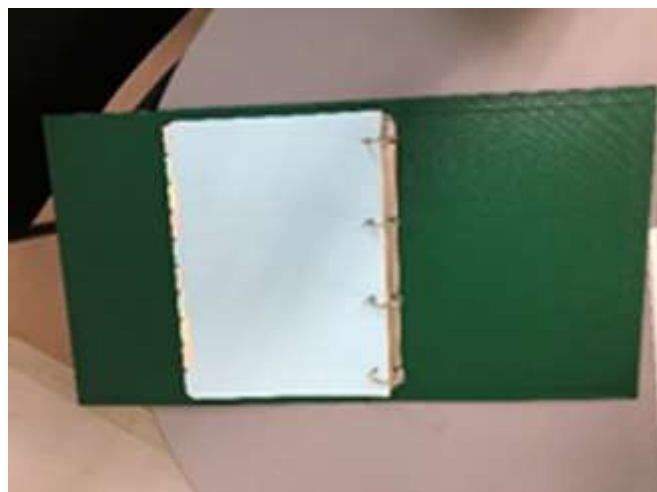
これまでお子さんの学習をサポートして下さった保護者の皆さんにも感謝致します。今のところ校内の生徒たちを観察していると、皆賢く、十分に準備が出来、持ち物も整い、幸せそうに見えます。ここで今一度保護者の皆さんにはお子さんの持ち物に記名することの重要性を強調させて下さいーKISTの忘れ物・落とし物箱は新年度が始まったばかりですでにいっぱいになってきています！また、特

にG6～G8の保護者の皆さんにはお子さんが学校に必要な物を必ず毎日持参するようご確認をお願いいたします。持ち物リストは6月23日のE-Communicationsで全ご家庭にお知らせしています。

下の写真2枚は今年度のから新たに始めた新しい取り組みを撮ったものです。初日のチームビルディング・アイスブレイキング活動と、2017-18年度にMYP数学でG6の生徒が持っていなければならないA4リングバインダーです。

最後に、先日行われた Secondary Parent Welcome Night が皆様のお役に立てたことを願っています。また、イベントでもお話いたしました幾つかのイベント情報を9月中旬にE-Communicationsでお送りいたしますので、お見逃しなく。また、いつもお伝えしていますとおり、ご質問やご意見がございましたらご遠慮無く私宛にご連絡下さい！

Mark Cowe
Secondary School Principal



MYPニュース

新学年度に生徒たちがMYP学習について探求します

新学期最初の週は、生徒にとっていつも緊張とワクワクが入り交じる時です。今年は、この時期にG6~8の生徒たちがIB MYPプログラムの必須要素について学ぶ特別ワークショップに参加しました。

G6の生徒たちはMYPのパフォーマンス評価の基本について学びました。教師と生徒が基準をもとに評価の判断を下す方法について探求しました。

プログラムの一年目を進むにつれ、生徒たちは成績評価をするために教師がどのようなアプローチをするか、よりよく理解が出来るようになると思います。

MYP GRADE BOUNDARIES	
7	Excellent
6	Very Good
5	Good
4	Satisfactory
3	Mediocre
2	Limited
1	Very limited

生徒たちはMYPでどのように学期の成績が算出されるかについて学びました。

殆どの生徒がMYP経験を持つG7とG8では、目標設定のためのセッションを行いました。IBの重要な構成要素である学習スキルへのアプローチ (Approaches to Learning Skills) では、個人目標及び学習目標の設定は意義ある変化のために必須の行為です。

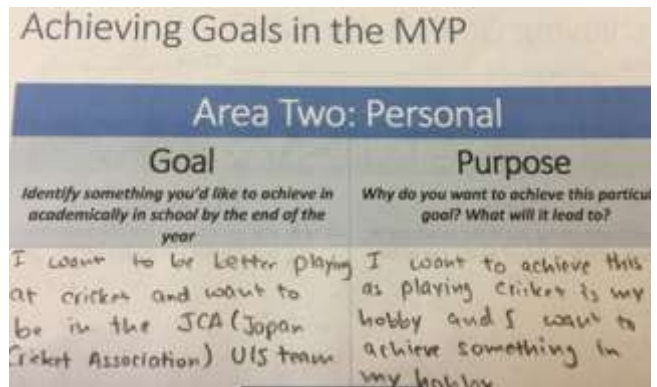
様々な活動を通して、生徒たちはこれまでの成功や失敗体験を振り返り、今年一年の目標を立てました。

今年度中に、他にも生徒たちが更にMYPへの理解を深めるための機会が提供される予定です。

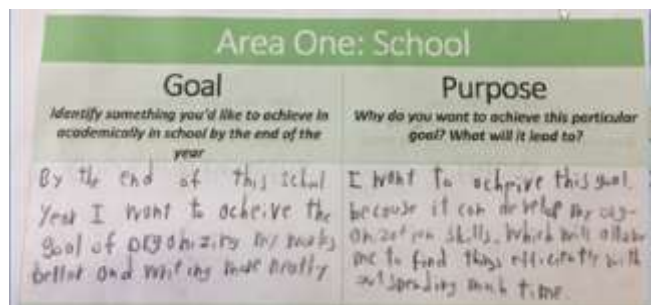
Robert White
MYP Coordinator



G7が今年の目標設定の前にウォーミングアップのための活動に参加しています。



G7の生徒の個人目標



G8の生徒の学習目標



北京でのサマーキャンプ

KIST生が北京での国際サマーキャンプに参加しました

7月に世界中から集った777人の学生がBeijing International Education Exchange主催のキャンプに参加するため、北京に集まりました。その中には5人のKIST生、G10のAkino、Mai、HinakoそしてG11のYohdaiとShimpeiがいました。Akino、HinakoとMaiは以下、キャンプの感想を寄稿してくれました。



Hinako(左)、Akino(右から2番目)とMai(右)キャンプの指導教員と

Mai (G10A)

今回は私にとってこのような催しに初めて参加する機会であるだけでなく、学校にとっても中国大使館からBIEEへの招待を受けた初めての年でした。BIEEへの招待についてのメールを初めて見た時、是非学校を代表してキャンプに参加したいと強く思いました。そして幸運にも5名の参加者のうちの一人に選ばれることが出来ました。中国を訪問できるという興奮と同時に、長期に亘る日中の緊張関係に伴い、日本が中国の人たちにどのように思われているのだろうかという不安も感じました。ただ、今回新しく出来た中国の友人たちの多くが日本文化を好み、尊重してくれたことを嬉しく思いました。このことを通して、メディアの誤った、過度に強調された報道についても理解することが出来ました。

キャンプでの10日間、世界中からの参加者たちとの交流や、中国の文化的活動への参加を心から楽しみ、中国について知ることが出来ました。最終日の前日がこのキャンプ中で最も印象に残った日でした。この日は閉会式が行われ、夜には777人の学生たちが各々素晴らしい伝統舞踊を披露しました。日本を代表して、KIST生徒と16名の日本人は着物やハッピーを着てソーラン節と「恋ダンス」を披露しました。

全体的に北京でのサマーキャンプは新しい経験をし、中国文化を体験できた素晴らしい機会でした。このような機会を提供して下さったBIEEと学校に感謝しつつ、来年もまた5名の参加者に選ばれることを祈っています！

Hinako (G10A)

このキャンプはBMCEとBIEEの主催で、Beijing Royal School(北京王府学校)で10日間行われました。33カ国から800人近くが参加しました。このキャンプ中、国立競技場、鳥の巣、万里の長城、紫禁城、などを訪れました。また、書道、ほぞ継手、墨絵など中国文化も数多く体験しました。

このキャンプで多くの素晴らしい人達に出会い、またとない体験をすることが出来ました。世界中から沢山の参加者が集っていて、最後には皆と友だちになることが出来ました。政治的な問題や国際問題には一切触れることはありませんでした。それらは一切押しやって、皆ただの個人、一参加者として触れ合い、楽しみました。夜には多くの参加者が校庭に集まり、お互いの言語や文化を教え合いました。これまでこんなに互いに共通点があるなんて思いもしませんでした。食堂では中国人の参加者と食事をして、廊下ではネパール人とすれ違い、立ち話をしました。この経験は本当に何にも代えがたい素晴らしいものでした。たった10日間がお互いに、他言語を覚える決心をしたり、母国ではなくアメリカの大学進学を決めたりと大きな影響を及ぼしたのも驚くべきことでした。

閉会式では、多くの国の参加者がその国独自の文化や特徴のある様々な出し物を行いました。私たちの国では北海道の民謡をベースにしたソーラン節とテレビドラマで有名になった「恋ダンス」を披露しました。この閉会式で、楽しかった2017国際サマーキャンプ(国際学生北京夏令营)は感動的な終わりをお迎えしました。



キャンプ参加者は天安門広場を含む北京の名所めぐりました。



万里の長城で



次のページに続く

前ページの続き

Akino (G10A)

2017の北京国際学生サマーキャンプはとにかく素晴らしいの一言でした。10日間で私たち参加者は中国の豊かな文化、伝統、生活、芸術、言語に触れ、歴史的な史跡なども訪問することが出来ました。

世界中から集まった777名もの参加者が一つの学校に集結すると圧倒されてしまいます。最初、私は緊張し、殆ど知らない国で、初めて合った人たちと10日間も過ごすことが出来るのか不安でいっぱいでした。最初の夕食では、他の生徒達との交流を避けて、KIST生だけで食堂の隅に固まっていた。でも、二日目には新しい仲間が二人も増えました。それ以降、毎日交流する人数や知り合いが増えていき、次第に食堂の中心に座るようになりました。最終日には食堂中で別れを惜しむ泣き声や、ハグし合う姿が見られました。

この国際サマーキャンプに参加したことで、北京に行くことが出来ただけでなく、永遠に感謝するであろう、友情を築くことが出来ました。



キャンプの閉会式

アスレチックアップデート



今年度も、これまでに引き続き、KISTでは International Schools of Tokyo Athletic Association (ISTAA) のメンバーとしてインターナショナルスクール間の試合に参加します。2017-18年度も、生徒の皆さんの参加と保護者の皆さんのサポートに期待しています！セカンダリーでは以下のスポーツでG6～8(U-14)及びG9～12(U-18)男女のチームを組織します。バレーボール(9月～11月)、バスケットボール(11月～3月)そしてサッカー/フットサル(3月～6月)です。



2016-17 U-14男子バスケットボールチャンピオン

エレメンタリーでは一年を通してサッカー(G3～5)とバスケットボール(G4～5)を提供し、トーナメントにも参加します。更に、外部団体が提供するチアダンスクラブやACミランサッカークラブも一年を通して月曜日の放課後に学校で提供されています。



2016-17 G5エレメンタリーバスケットボールチャンピオン

その他、クロスカントリー、バドミントン、(セカンダリー)や、オリンピックス(エレメンタリー)や、その他の運動部が提供される予定です。生徒の皆さんには参加を勧めたいいろいろな理由がありますが、**とにかく楽しい**と思うので、是非参加してみてください！

KISTでは毎年荒川土手でISTAAのクロスカントリー招待試合を主催しています。KIST生は参加する10～12のインターナショナルスクールの生徒たちと競う機会が与えられます。今年の試合は2018年の4月20日を予定しています。今年も当日お手伝い頂く保護者ボランティアを募集致します。昨年、又は過去にボランティアいただいた皆さん、有難うございました。今年もよろしくお願い致します！！

最後に、昨年度BSTで開催されたISTAA U-14男子バスケットボールで優勝したKIST COMETSの選手の皆さん、そしてISTAA エレメンタリーチャンピオンシップで優勝したG5の選手の皆さん、おめでとう！！

Dennis Ota

Extra-Curricular Clubs and Athletics Coordinator



TASSELレポート

TASSELはカンボジアの恵まれない子どもたちの学習・社会面のサポートに特化した非営利団体です。カンボジアの多くの人たちはまだクメール・ルージュ時代のトラウマに苦しんでいます。その結果、カンボジアは世界の最貧困国の一つであり、子どもたちに英語を教えることが出来る教師も、学校も不足しています。TASSELは無料の英語授業を提供することで、カンボジアが貧困から抜け出すきっかけとなることを目指しています。KISTではこれまで、ローズキャンペーンやtie-dyeシャツ作りなどの資金調達イベントを通し、417,190円をカンボジアの人たちに寄付してきました。また、夏休み中にはKIST TASSELメンバーの数人がカンボジアを訪問し、子供たちに直接会ってきました。

カンボジアの問題の多くは、人々の階級をなくそうという理念で動き、過酷な労働や拷問、飢餓を引き起こした原始共産主義のクメール・ルージュ時代から始まった悲惨な政治に起因しています。私達は旅の一日目にトゥール・スレン虐殺犯罪博物館を訪れ、私たちが実際に近くに接し、教えることになる生徒の友人や親戚を含む多くの罪のないカンボジア人たちが辿った悲劇について教えられました。

クメール・ルージュはプノンペンで、少しでも学識があると思われる人たちを無条件に逮捕拘束しました。その中にはただメガネを掛けていたり、柔らかい労働者とは思えない手をした人たちもいたそうです。逮捕された多くはトゥール・スレンに連行され、犯したとされる犯罪について自白するまで連日の拷問を受けました。ある囚人が必要な数の犯罪について自白すると、後に殺害原野と呼ばれたキリング・フィールドで死刑が執行されました。20,000の合同墓所跡地から130万人以上が虐殺されたと推定されます。30年以上たった今でも、キリング・フィールド跡地から新たな遺骨が発見されています。



実際に現地でも英語を指導する前に、現在TASSELが毎月、食、医療、家賃などの支援をしている幾つかのご家庭を訪問しました。訪問したうちの一件はDoeschという男の子の家で、祖父母、おば、年長の従兄弟と暮らしています。家族を経済的に支えていた母親は失踪してしまっただけでなく、TASSELの教師はDoeschが他の子どもが食事しているのを涎を流しながら見ているところを目撃し、支援が必要であると判断しました。家族の支援を始めてから、Doeschと彼の兄弟、そして従兄弟に笑顔が増えました。お祖母さんはとても協力的で、彼らと一緒に英語を学ぶことを申し出てくれました。

これらのご家庭を実際に訪問することで、TASSEL生達の生活環境を知ることが出来、どれだけ彼らが支援を必要としているか実感できました。Joji (TASSEL創設者) は支援金が家族の健康を支える食事に使われていることを常に確認しています。個人的に各家庭を訪問し、TASSELの教育が及ぼす影響を知ることで、この団体の重要性と、教えている生徒たちとの絆を実感しました。



今回のTASSEL旅行の主な目的はカンボジアの子供たちを指導することでした。私達は3日間SamrangとBananという2つの村で指導しました。熱心な生徒たちに指導することはとても素晴らしい経験でした。参加者の中にはオンライン授業・ライティング指導をしていた生徒に実際会うことが出来た人もいました。私達は毎日授業計画を立て、最終日である4日目にはこ



れまで学んだことをもとにしたクイズを行いました。授業中の生徒の朗らかさのおかげで温かく心地良い環境に包まれたクラス環境となりました。最終日には生徒たちの手作りの贈り物や、手紙、涙や笑顔に包まれ、帰りがなくなるほどでした。

旅行中、カンボジアの教師たちを教える機会にも恵まれました。朗らかな微笑みとともに、先生方も熱心に授業に参加してください、休憩を辞退されるほどでした。皆さん、生徒たちに学習意欲や態度の素晴らしい模範を示して下さいました。

これら授業の目的は現地の先生方の発音や文法知識を向上させ、子供たちの英語教育の質を向上させることでした。このため、現地教員の皆さんは私たちの指導を歓迎してくださったのです。現地教員の皆さんのTASSELへの貢献度は私たちより遥かに大きいにも関わらず、私たちに手紙や写真で感謝を表して下さいました。

いつも微笑みながら他の人達に思いやりを示す人たちがどのような苦難に耐えてきたのかはなかなか実感できるものではありません。このような経験を通して、もっとこのような問題について意識を持ち、他者のために何が出来るのかを考え、もう少し人に優しくすることを考える良いきっかけになると思います。

Sara, Hyunjeong, Taimu, Ibuki, and Nikita



ハビタット・フォー・ヒューマニティ(HFH)



HFHとは？

HFHは1976年にアメリカ合衆国で設立された、国際NPO、NGO 法人です。発展途国の貧困や劣悪な住まいの問題を解決していくため、世界約80か国で支援を受ける人々そして世界中のボランティアと共に、住宅建築や自立支援に取り組んでいます。KISTでは2006年からHFHの活動に参加しています。

どのような活動をしているのか？

2016-2017 学年度には、2017 KIST Habitat for Humanity Team は、ベトナムで家をたてるためのプログラム参加費用の一部を自己調達するために様々な活動を行いました。生徒たちの資金調達活動には以下の様なものが含まれます。KISTival でのゲーム及び情報ブース運営、英・日でのプレゼンテーションを通して企業スポンサーを募る、スポンサー企業様と協力し、チャリティーイベントを開催、Café 英会話でのMYP模擬英語授業やACミランサッカーイベントなど。



これらの活動を通して2017 KIST HFH Teamは当初の目標であった2,500,000円を遥かに超える**4,131,943円**を自己調達することが出来ました。この場をお借りして、多大なご支援を頂いた学校コミュニティの皆様と企業様にお礼申し上げます。

10日間の旅の間、10名のKIST生はベトナムの貧困層にある家族のための家を建てるため、チームとして活動しました。決して簡単な作業ではありませんでしたが、生徒たち(と、教師も)やりがいのある活動を楽しみました。

H FHのメンバーになったのは、きっと私の人生においてすごくポジティブな影響をもたらしてくれた、良い決断でした。ベトナムの現地活動への参加も私にとってとても大切なものになりました。建築作業を行った数日間は朝早くから夕方まで1日通して、暑い中みんなですごく大変な肉体労働を沢山してすごく疲れましたが、この努力とか頑張りには全て絶対に誰かの役に立っていて、とても意味のあるものだったと思います。現地のHFHのスタッフは私が持っていないような知恵をいっぱい持っていてすごく尊敬できたので、その方々と一緒に作業をするのはすごく良い刺激になりました。また、現地の方々との触れ合いは本当に本当にあつたかくて、優しいもので、私にとっていちばんの宝物です。私達のチームは、たくさんたくさん頑張りましたが、その分ベトナムの文化を学びながら沢山楽しむことも忘れませんでした！本当にこのベトナムでの活動は私にとってかけがえのない経験です！ **Aska (G12A)**

ハ ビタットでの旅は私に、ベトナムで家を建て、現地の人と繋がりを持つという機会をくれたとても貴重なものでした。たくさんのお悩みもありましたが、この日常ではできないような経験は私にたくさんの方々の今後の為の教訓を教えてくださいました。 **Jiu (G12B)**

僕 は、2017年のハビタットチームに居たことが今まで最高の経験の一つでした。それに加えて、ベトナムにいる家族のため家を建てたことによってベトナムのコミュニティーに貢献しただけではなく、文化も学ぶこともできました。確かに僕達は、1日8時間以上働きましたが、地元のお店や食べ物を楽しむことができました。僕は、援助を必要とする人々や様々な機会を与えてくれる優れたグループに入ることができて光栄でした。 **Moe Min (G12A)**

H 4Hトリップは強く記憶に残る経験でした。建設作業はベトナムの高温多湿の気候もあって非常に大変でしたが、これからの人生に役立つ経験が出来ました。現地の人々は優しく友好的で、作業が終了した後の達成感は言葉では表せません。このトリップに参加することで貧困地域の人々にただ募金するだけではなく、家を建てるという直接的な支援ができたのが嬉しかったです。また機会があれば是非参加したいです。 **Rinchin (G12A)**

H abitat for Humanity の活動のためにベトナムで過ごした十日間は、間違いなく私の人生の中で最も記憶に残り、価値のある経験でした。今回共にベトナムに訪問した他のメンバーたちも同様に感じていると確信しています。湿度も気温も高い環境で家を建てるのはとても大変な仕事でしたが、ベトナムの現地の方々と交流し、たとえば私たちのような学生であっても、他者をどのようにサポートできるかということを確認できたことは、非常に貴重な体験でした。 **Yurika (G12B)**

HFHでは現在 2018 KIST HFH Team のメンバーを募集しています。G8からG11の生徒であれば参加可能です。HFHは援助を必要としている人たちのために家建てる事や、企業スポンサーの獲得、チャリティーイベントの企画などに興味のある生徒に最適の活動です。詳細は Ms Hamano (hitomi.hamano@kist.ed.jp) までお問い合わせ下さい。

セカンダリーSRC

SRC クラス代表委員選挙

クラス代表は生徒の声や意見をSRCに伝える責任を負います。SRCの一員になることは、異なる学年の人達と交流できるだけでなく、より良いコミュニケーション能力と、より柔軟な考えを持つことが出来るようになる素晴らしい機会です。多くの生徒にとって、人前ではっきりと意見をいうことは少し怖いことかもしれませんが、SRCにはこの恐怖の克服に協力できる生徒たちがたくさんいます。SRCの一員になることで、学習だけでなく、社会生活においても役立つ多くの生涯スキルを身につけることが出来ます。皆さん、是非私たちの仲間になって下さい！



Let your voice be heard

SRCクラス代表委員選挙が9月1日

(月)に行われました。今回選出された新しい委員は以下の通りです。

G12A: Ji Hye	G12B: Amina
G11A: Ayan	G11B: Natasha
G10A: Akino	G10B: Marlinah
G9A: Dharmik	G9B: Den
G8A: Armaan	G8B: Hanna
G7A: Tomoko	G7B: Heet
G6A: Diya	G6B: Arnav



皆さんのクラス代表です！

今年度のSRCの目標は？

今年は生徒の提案や要望をもっと実現していきたいと思っています。まず、手始めに、本館のお手洗いのいくつかに棚を設置します。これは5分間の教室移動休憩の時に使いたいと、幾人かのG12から要望があったものです。

昨年度の実績

昨年度、SRCは卒業パーティーに資金を提供し、女子U-14フットサルチームのユニフォームや、昼休みに生徒が使用できるスポーツ用品を購入し、TASSELの資金調達イベントで使用する tie-dye Tシャツ購入資金を提供しました。SRCは、ミドルスクール・ダンス、フリードレス・デー、バークセール、Arts Committee や数回のランチコンサートなどを開催し学校コミュニティに貢献しています。

Class officerの廃止

今年度、class officer は廃止されます。しかし、その他のポジションを新たに提供します。以下を確認して下さい！

新ポジション!!!

今年度から、SRCが提供する特別委員会は以下の4つになります。

- **Arts Committee (芸術委員会)**: 季節毎のコンテストの実施、音楽及び美術教師と協力し、コンサートや展示イベントを実施
- **Sports Committee (体育委員会)**: 校内のスポーツイベントの企画運営、KIST ISTAA イベントの促進や支援、PHE部門とともに、運動器具の使用法を調整
- **Service Committee (サービス・奉仕委員会)**: 奉仕活動の促進、支援、参加を行う、資金調達の要望に応える、KISTの奉仕プログラムの見直し
- **Media Committee (メディア委員会)**: 図書司書及びSRCと協力し、ビデオや視覚メディアの作成を行う、KISTイヤーブックの制作に貢献する

Let's have a fun year!!!

セカンダリーELS

KISTコミュニティの皆さん、こんにちは！今年のセカンダリースクール英語サポートチームをご紹介できることを嬉しく思います。今年は3名のELSインストラクターでG6～G10までの授業サポートとアカデミックライティングの指導を行います。



私はMichael Davignonと申します。KISTのELSインストラクターとして勤務して今年で4年目を迎え、今年は初めてELSコーディネーターを務めます。私は出身国であるアメリカの英語及び社会の教員免許を有しており、また、日本では2003年以来教育に携わっています。今年も去年に引き続きG6～G10のサポートを行いますので、教室で私を見かけたら気軽に質問をしたり、話しかけたりして下さい。今年もELSチームと素晴らしい一年にできるよう努力したいと思います。今年度のELSチームは以下の通りです。



こんにちは、Anna Holdawayです。今年でKISTでの6年目を迎えます。私はオーストラリアのメルボルン出身です。今年もG8の英語とI&Sのサポートを行い、またIE(集中英語コース)の指導とアカデミックライティングを受け持ちます。ELSスタッフとしての勤務に加えて、生徒ケアコーディネーターとしてG6～G8のケアを行います。



G7～G9のELSインストラクター、Douglas McGillivrayです。私はシカゴ生まれのシカゴ育ちで、2013年にDominican Universityで芸術を専攻し、教員免許を取得しました。これまでテクノロジーから芸術系教科まで様々な教科を指導してきました。2015年に東京に越し、2016年の終わりにELS免許を取得しました。個人的には作曲や録音、そして体を動かすことが好きです。今年も生徒の皆さんと親しく関わり、アカデミックライティングを始め、英語やI&Sで皆さんのサポートをすることを楽しみにしています。

Staff 10!



大自然の神秘を堪能するMs Biggs。

今月のStaff 10! では、セカンダリー教師として2016年8月に加入したKimberley Biggsをご紹介します。Ms Biggsはニュージーランドの出身で、MYP科学とDP生物を指導し、現在G8Bの副担任でもあります。

1) 出身地について面白いことを教えてください。

私の故郷はニュージーランドの北島(ノースアイランド)のほぼ先端にある、海岸と農場に囲まれた小さな町です。ニュージーランドの他の地域に比べて温暖で晴れた日が多いので、'gateway to the Winterless North' (常春の北への玄関口)などと呼ばれることがあります。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？

最も好きな場所は故郷のニュージーランドです。世界中の素晴らしい場所を多く旅する機会に恵まれましたが、やはり我が家(太陽、ビーチ、美味しい食べ物!)に勝る場所はありません。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

Sir David Attenboroughには是非お会いしたいです。氏は環境問題のバイオニアで、人々が自然界について理解し、敬意を払うことに大いに貢献しました。氏が見てきたことや、成し遂げた偉業についてお話できたら嬉しいです。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

ケーキのテイastingです！J美味しいケーキを食べてきたことについては何年もの経験があります！

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

Maoriを学んだことがあります。

6) あなたにとって一番の宝物は？

東京では私の自転車です！！あらゆるところに連れて行ってくれる相棒ですJ

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。

Caring(思いやりのある人)でしょうか。私はこれまでも人との交流を好んできました。そして教師という職業の良いところは生徒たちと関わり、学業で成功することを支援するとともに、自身が情熱を傾けることができる教科を見つける手助けができることです。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

今と違った選択や行動を取ることはないと思います。これまで多くの間違いを経験してきましたが、それらを通して学び、成長し、より賢い自分になれたと思っています。

9) 自分を高めるために今やっていることは？

日本の夏を生き延びること！そして日本語の読み書きがもっとできるようになることです。

10) ファンに一言お願いします。

地球環境を思いやること、出来る限り色々なところを旅すること、すべての人を平等に、敬意を持って向き合うこと、あらゆる機会を捉えてチャレンジすること！

図書室ニュース

おかえりなさい!

KIST図書チームは皆さんが楽しく、安息に満ちた夏休みを過ごし、そして**楽しい本**を読む機会があったことを願っています！皆さんが本当に気に入った(もしくは大嫌いだった)本はありますか？図書Moodleブログに載せるミニレビュー用に題名、著者、3行コメントを是非送って下さい！コメントには、本の主題、何故気に入ったのか？他の誰にお薦めするか？を入れて下さい。レビューの送り先は library@kist.ed.jp です。

図書プログラム

新しく改善されたエレメンタリー図書室にまだ行っていない人は是非立ち寄ってみて下さい！テーブルがなくなり、本を読むスペースが広くなり、本の入った「ブックボックス」や心地よいフルーツクッションが置かれています。そして皆さんお気に入りの図書プログラムもより良くなって帰ってきます！サクラメダル、DEAR、そしてWorld Culture Dayの情報に乞うご期待です。



新しいK1とK2用(タイヤ付き)ブックボックスと、エレメンタリー生による飾り付けを待っている広々としたエレメンタリー図書室。

オンライン資料

生徒は図書室の資料に24時間いつでもアクセスできるということを知っていましたか？本当です！司書には休憩が必要ですが、インターネットは眠りません。9月19日からエレメンタリー図書Moodle、LMC Moodle、Destiny、Destiny Discover (new) からいつでも、どこにいてもオンライン資料にアクセスできるようになります。



Destiny Discover (新サービス)

LMC生徒アンケート

昨年度の終わりに全セカンダリー生を対象に以下オンラインアンケートを実施しました。

- KIST図書室で読みたい小説を簡単に見つけられますか？
- 皆さんの学習や、娯楽のための読書のお手伝いのためにKIST図書館が改善できることは何でしょうか？



これには105名からの回答がありました。協力ありがとう！ Mr Tim と Ms Erikaは全てに目を通し、既に改善を始めており、これからもどんどん改良・改善をすすめていきます。以下に例を上げています。

1 G9の生徒:

“シリーズ物の本は順番に並んでいるとうれしいです。どれがシリーズの最初のものかわからないことがあるので。”

すばらしい意見です！ LMCの対応:

- * シリーズ物はまとめて並べる
- * 人気のあるシリーズ物はセットで購入
- * シリーズを表示するラベルを設置

2 G8の生徒:

検索用コンピュータのパスワードを知っている人がいない。

LMCの対応:

パスワードを外しました！いつでも利用できるようになっています。

3 G7の生徒:

そんなに大変ではないけれど、本を見つけるためのガイドがない(大抵は図書室内を歩き回ってほしい本を探している)。

LMCの対応

- * 図書室の掲示をすっきりさせる
- * 英語科教員が図書室を訪問し、生徒の学習をサポートできるような分類に圖書の並べ替えを行った
- * Destiny Discover: 全ての蔵書をデータ検索出来る- 読んで気に入った本のタイトルを入力するとおすすめの本を提案してくれます！

KIST Library Team



Mr Tim



Ms Leslie



Ms Erika

オフィスアップデート

欠席、遅刻、早退



生徒の欠席、遅刻、早退のご連絡は、メールで(担任ではなく)直接学校オフィスまでお願いいたします。メールの宛先は、info@kist.ed.jpです。欠席や遅刻のご連絡は始業前をお願いいたします。ご連絡がない場合、お子さんの出席確認のため、メールで皆様のOffice 365アカウントにご連絡させていただきます。

アレルギーや健康問題



KISTへの入学時に自覚がなかった、または症状のなかったアレルギーや健康問題がお子さんに現れた場合は必ずinfo@kist.ed.jpからオフィスにお知らせ下さい。お子さんの健康状態について常にオフィスに共有頂けますようお願いいたします。

また、緊急時に保護者の方、または緊急連絡先にご連絡することが出来るよう、連絡先-特に電話番号に変更があった場合も必ずお知らせ下さい。

コミュニティ向け資料



学校の様々な資料がKISTウェブサイトのCommunity セクションから入手いただけます。入手いただける資料には以下のものが含まれます。

- **ファミリーハンドブック**
学校の方針、手順、期待値などの情報を提供します。生徒の進級・進学条件を明記した**進級、進学および卒業条件**文書もこちらでご確認いただけます。
- **職員連絡先**
担任、教科担任のメールアドレス帳
- **DPハンドブック**
IBディプロマと、KISTでDPがどのように組織・運用されているかについての情報が含まれています
- **キャリア&大学進学ガイダンスハンドブック**
大学出願とその準備についての情報を含んでいます。

様々な活動へのオンライン申し込み(学校サポートプログラム・SSP、生徒健康診断、KIST CAへの参加など)がこちらから行えます。

Community セクションにはKISTコミュニティのみを対象とした情報が含まれているため、パスワードによる承認が必要です。アクセスにはOffice 365へのログインが必要です。

休校



学年度中、悪天候(台風や大雪など)や伝染性の病気の流行などで、休校をせざるを得ない状況になる可能性があります。このような場合、コミュニティの皆様には、可能な限り速やかにE-Communicationのメールで、また、学校ウェブサイトのトップページからお知らせいたします。休校により、ご家族の皆様にご迷惑、ご不便をおかけする事もあるかと思いますが、このような状況は学校の予測や管理を超えたものであるため、皆様のご理解をお願いいたします。また、万一、休校とせざるを得なかった場合は、お子様のお迎えなどに関して、皆様のご協力をお願いいたします。

学校メール



学校に関連するコミュニケーションには必ずOffice365のメールアカウントをご使用頂くようお願いいたします。LINEやWHATSAPPのようなアプリで個人的に他の保護者の方とコミュニケーションを取られることはご自由ですが、このようなアプリを使用することを選択されない方もいらっしゃいます。このため、学校コミュニティすべての保護者と連絡が取れるよう、学校行事やクラスの集まりなどの連絡には学校のアカウントをご使用頂くようお願いいたします。また、お子さんの担任からのご連絡や、E-Communicationを用いた学校からのお知らせを確認頂けるよう、定期的アカウントのチェックをお願いいたします。

学校のメールアカウントの詳細は[Family Handbook](#)の[School E-Mail Accounts](#) セクションをご確認下さい。(ログインが必要です)

FOR SALE

学校をサポートする方法、または愛校心を示したいと思っている方はいませんか? 1つあたりたった200円でKISTの時計またはマグカップの所有者になれます。機能的で、時間だけでなく日付と気温も表示することができるデジタル時計と、スタイリッシュな紺色のマグは贈り物にも最適です。ご希望の方はお早めに受付のMs Mitsuyoにお問い合わせ下さい!



KIST保護者会 (CA)



新年度にまた皆さんにお会い出来ることを嬉しく思います！KIST Community Association (CA) は学校のミッション、ビジョン及び信条に従い、イベントの企画・運営、生徒の教育と福利のためのサービス、器材、資料の提供をすることで、生徒、保護者、学校間の協力関係を築く事を支援しています。

この目標を達成するため、CAは様々な分野で学校をサポートするための複数の委員会を組織しており、全ての保護者の方のご参加を歓迎しています。委員会の活動や会議の全てに参加する必要はありませんが、できるだけ多くの保護者の方に各委員会の活動を知っていただくため、是非委員会へのご登録をお願いしたいと思っています。

サービス委員会

生徒イベント委員会

図書委員会

コミュニケーション&コミュニティ広報委員会

ソーシャル委員会



委員会へのオンライン参加登録はこちらのリンクから行って頂けます <http://www.kist.ed.jp/node/781>。差登録フォームへアクセスするためには学校のOffice 365アカウントへのサインインが必要です。皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。委員会はあなたの協力が必要です！

最後に、2017-18年度のCA役員をご紹介します。

会長



Mika Shindo

副会長



Shika Li

会計



Naoko Takizawa

書記



Noriko Nogami

委員会への参加に興味がおありの方や、CAについてもっとお知りになりたい方は以下メールアドレス宛にお問い合わせ下さい ca.officers@family.kist.ed.jp。

CA Officers



大学ガイダンスニュース

2017年度卒業生の進学状況

- 32人の生徒が12年生在学中に大学に出願しました。
- 5人の生徒は卒業後に出願しています。(オーストラリア2名、日本1名、アメリカ1名、ギャップイヤー1名)
- 今年の秋に入学することが決まっている生徒の国別進学先は 日本8名、アメリカ8名、カナダ6名、イギリス1名、インド1名、アイルランド1名 です。

KISTの卒業生は今年もまた素晴らしい進学実績を更新しました。次ページの2017年度卒業生合格大学リストをご覧ください。

今年のハイライト:

- 今年は進学先としてカナダが人気になりました。(昨年は1人でしたが今年は6名カナダに進学します。)
- アメリカの大学に進学する生徒のほとんどが学費(授業料、本代、寮費など)の一部から全額を賄える給付型奨学金またはファイナンシャルエイド(最大で年間6万ドル)を得ています。
- シンガポールのイェール-NUS(シンガポール国立大学)大学に初めて進学
- アイルランドの医学部に初めて進学
- イギリスのセント・アンドリューズ大学(オックスフォード大学、ケンブリッジ大学についてイギリスで3番目に長い歴史をもつ名門大学)に初めて進学
- 昨年に引き続きアラブ首長国連邦のニューヨーク大学アブダビ校に進学(全額給付型奨学金プラスお小遣い)

Alumni talk by Sara (Class of 2016)

9月5日のランチタイムにKIST卒業生でロンドンスクールオブエコノミクス(LSE)で社会学を専攻しているSara (Class of 2016)が、Alumni Talk に来てくれました。彼女はロンドンでの大学一年目の経験について語り、集まった生徒たちにイギリスの大学の出願についてのアドバイスをしてくれました。ありがとう、Sara! (彼女はこの号のThe Cometに寄稿しています。ぜひご覧ください。)



Alumni talk by Sara in the LMC

Mrs Okudeのカナダとアメリカの大学訪問

学校が夏休みに入って間もなく、成田空港からカナダ東部ーワシントンDCへの2週間半の旅に出発しました。まず最初にモントリオールに到着し、世界中から集ったカウンセ

ラーとともに、カナダ大学ツアーに参加しました。ツアーはモントリオールのマギル大学から始まり、モントリオールのコンコルディア大学、オタワのカールトン大学、キングストンのクイーンズ大学、ピーターボローのトレント大学を訪ねました。ツアーの終点となったトロントでは、トロント大学のメインキャンパスも見学しました。また、トロント滞在中には今年のはじめにトロントで結婚して幸せいっぱいKIST卒業生カップル、Heisei (Class of 2008)と Junko (Class of 2006)に会うこともできました。その後、ワシントンDCに立ち寄って数日間過ごし、ワシントンDCにあるアメリカン大学と、奥出の母校であるジョージ・ワシントン大学を訪問しました。



American University



University of Sydney



University of Toronto



McGill University



George Washington University

シドニー大学でのカウンセラーウイーク

7月の終わりに、シドニー大学のご招待を受けて、同大学で開催された School Counsellors Professional Development Weekに参加しました。盛りだくさんのプログラムで忙しい一週間でしたが、アジア太平洋地域から参加したカウンセラーと共に過ごし、シドニー大学についてだけでなく、シドニーの街やカルチャーについていろいろと学ぶことができました。

University Guidance Calendar

秋には大学進学関係のイベントや説明会が学校内外で多数開催されます。ぜひご参加ください。[University Guidance Calendar](#) に詳細や最新情報を載せていますのでチェックしてください。

Mrs Keiko Okude

Career and University Guidance Counselor
Office hours: Mon, Tue, Thu, Fri 10:00-17:00
keiko.okude@kist.ed.jp

卒業生大学合格実績

KIST 2016年度卒業生

()=合格生徒数 | *=奨学金付き合格
#=2017年秋入学 | 2017年8月25日時点のもの



イギリス

Cardiff University
HULT International Business School London
King's College London# (2)
Loughborough University
Newcastle University*
Queen Mary, University of London
St. George's University
University of Bath
University of Birmingham (2)
University of Bristol (2#) (1*, 2)
University College London (2)
University of Edinburgh (2)
University of Exeter (2)
University of Glasgow (5)
University of Hull
University of Kent
University of Manchester (1*, 1)
University of Nottingham
University of St. Andrews#
University of Sheffield (2*, 1)
University of Southampton (2)
University of Surrey (3)
University of Sussex
University of Warwick (3)
University of Westminster

アイルランド

National University Ireland Galway Medicine#

オランダ

Maastricht University
University of Amsterdam

アメリカ合衆国

American University*
The College of New Jersey*
Colorado State University*
DePauw University*
Earlham College*
Fordham University*
The George Washington University*#
Lawrence University*
Mills College*
Northeastern University*#
Parsons the New School
The Pennsylvania State University
Purdue University (3)
Rochester Institute of Technology*
St. John's University*
Savannah College of Arts and Design# (2*)
Scripps College
Smith College
Suffolk University*
SUNY Buffalo*
SUNY Stony Brook

UC Irvine

UC San Diego

University of Colorado Boulder
University of Connecticut
University of Illinois, Chicago
University of Illinois, Urbana-Champaign#
University of Maryland, College Park
University of Massachusetts, Amherst
University of North Carolina, Chapel Hill
University of Pittsburgh#
University of Rochester (2#) (2*)
University of San Francisco (2*)
University of Washington (3)
University of Wisconsin-Madison# (2)
Virginia Institute of Technology (2)

カナダ

McGill University# (2)
Ryerson University
University of British Columbia (2#) (1*, 2)
University of Toronto (1*, 2)
University of Waterloo# (2)

日本

International Christian University (ICU) (3) (2#)
Keio University SFC GIGA#
Sophia University# (4)
Temple University Japan
Waseda University Culture, Media and Society
Waseda University Political Science and Economics (2)
Waseda University Science and Technology
Waseda University SILS (3#) (3)
Waseda University Social Science

香港

The Chinese University of Hong Kong
The Hong Kong University of Technology and Science (5*)
SCAD Hong Kong*
The University of Hong Kong# (2)

インド共和国

National Institute of Fashion Technology#

マレーシア

Penang Medical College - Royal College of Surgeon in Ireland

シンガポール共和国

Lasalle College of Arts
Yale - NUS# (1*, 1)

アラブ首長国連邦

New York University Abu Dhabi*#

卒業生の声

SaraはKISTの2016年度卒業生で、現在London School of Economics and Political Scienceの理学士課程で社会学を専攻しています。

「月曜の朝」が憂鬱さ・朝早起きをしてこれから5日間の仕事や学校のことを考えること、の代名詞になっているようです！でも、これまでの1年間、寮で朝を迎えてきた私は「憂鬱な月曜日」とは無縁でした。もちろん、時には一杯のコーヒーが必要な時もありましたが…

これまでの1年間は全てが刺激的でした。ロンドンに住み、LSEで学ぶことは私の知識を増やし、自立させ、より積極的にしてくれただけでなく、これから自分がどのような人間になりたいのかをはっきりと自覚させてくれました。今、私はLSEへ進学を決めたことは本当に幸運だったといえます。そして、この決定をサポートして下さったKISTの先生方に心から感謝しています。

LSEはロンドン中心部にある大学で、社会科学に強いことで知られています。LSEの図書館に入ると膨大な経済、経営、社会学、哲学関連の書籍が並んでいますが、生物や化学の書籍は殆どみられません。私が師事している教授陣は各分野で著名な方ばかりです。そのうちのお一人は「アラブの春」の後に行われたチュニジアの選挙システムを作り上げた方です。また、つい先日、国連で女性の人權問題に携わっていたアンジェリー



ロンドンの町を散策中のSara(右)と友人たち

ナ・ジョリーが私の学部の客員教授に任命されました。

私のように常に社会科学に強い関心を抱いていた学生 - DPでは心理学HLとビジネスマネージメントHLを履修していました - にLSEはその関心をさらに深め、追求できる場を与えてくれました。そして私の周囲の人達も同じように社会科学に強い関心を抱いています。例えば、アメリカの大統領選挙の時は朝の6時までずっと選挙の行方を見守りました。そして休憩中の雑談が熱い議論に発展することもしばしばあります。IBで培ったスキル・系統だった論文を書く事、論理的思考、参考文献の引用、そしてスピーチはこの濃密な学習環境で特に私の助けとなっています。

もちろん、大変なこともあります - その結果によってある履修科目の成績が100%確定してしまう3時間の試験数セットというのはこれまで経験したことのないものでした。または何ページにも亘る社会学の古典テキストの読解にに取り組んだ際は1時間に10ページ、場合によっては5ページしか読み進められなかったこともあります。皆さんにお伝えしたいのは、社会学者は必ずしも優れた筆者ではないということです。でも、努力は必ず報われます-苦勞の甲斐あって、社会学部の最優秀成績取得者として表彰していただくことができました。

しかし、これまでに直面した最大の難関は私自身がどんな人間で、私という人間を作り上げている本質を探り当てることでした。LSEでは賢く、政治的な知識・関心を持っていることは当たり前です。周囲の友人たちがその美術的な才能で注目されたり、起業したりするのを見るにつけ、自分の特技や情熱を傾けられるものを探したくなりました。

多くの機会に恵まれた今の環境のおかげで、このプロセスが少しだけ楽に



Sara(左から3番目)と友人たち

なっています。私はファッションに興味があるので、ロンドンでのファッションウィーク期間中、あるファッションブランドのインターンとしてファッションソサエティのマーケティングマネージャーを務めました。また、東京に戻った時には戦略系コンサルティング会社でインターンを行い、別の企業でももう一度インターンを行う予定です。これらの経験を通して、自分自身をより理解し、他の人達に刺激を与えることが出来る人間になりたいと思っています。

IBプログラム、特にDPは非常に難易度が高いものであるということは理解しています。しかし、そこで最大限の努力をすることで多くの可能性が広がることも事実です。皆さんの幸運と成功を祈ります。そしてKISTの20周年おめでとうございます！！

Sara
KIST Alumnus, "Class of 2016"

